

ISOM'18 報告



ISOM'18 会場となった北九州国際会議場

ISOM は、1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている国際学会であり、今年 (2018 年) は 10 月 21 日 (日) ~24 日 (水) の会期で、北九州市の北九州国際会議場において開催された。新しい領域への展開を反映して、昨年からの正式名称を ISOM (International Symposium on Optical Memory) から ISOM (International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory) に変更している。当協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷副理事長以下関係者が出席した。

ISOM における研究発表分野は、従来の光メモリ技術からイメージング、センシングを含む幅広い領域に拡張され、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

今回の ISOM'18 の参加者数は 110 名であり、開催国の日本と、台湾、韓国、中国、米国、ロシアからの参加があった。

ISOM'18 国別参加者数

日本	台湾	韓国	中国	米国	ロシア	合計
84	15	6	3	1	1	110

応募論文件数は 51 件で、日本、韓国、台湾に加えロシアからも応募があった。招待講演、ポストドクトラインペーパーを含めた 77 件について、3 つのスペシャルセッション (Multimodal Imaging and Sensing, Computational Imaging, Applications of Holographic Optical Elements) を含む 14 のセッションにおいて口頭発表とポスターセッションが行われ、活発な討議が繰り広げられた。

毎年恒例となっている特別招待講演としては、北陸先端科学技術大学院大学の高村教授より“Biochip Technologies for New Horizons; Small, Massive, and High Sensitive”と題する講演が行われた。

ISOM'18 国別応募論文数

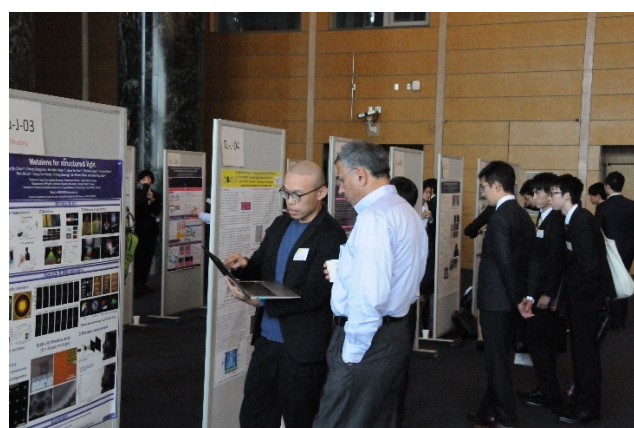
日本	台湾	韓国	中国	欧州	合計
36	8	6	1	2	53

内、2件取下げ

今後も ISOM は、光メモリ技術をコアとしながらも関連する幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。次回の ISOM'19 (http://isom.jp/ISOM19_First_call_for_paper.pdf) は、新潟市の朱鷺メッセにおいて2019年10月20日(日)～23日(水)の会期で開催される予定である。



Oral Session Hall



Poster Session



ISOM'18 参加者集合写真